

## The 3rd Tri-U Saga-Daegu-Soochow University International Joint Symposium 開催報告

2019年10月12日(土)8時45分~2019年10月14日(月・祝)11時45分の期間に、国際教育パートナーシッププログラムの一環として The 3rd Tri-U Saga-Daegu-Soochow University International Joint Symposium を佐賀大学理工学部6号館多目的ホールならびに9号館6Fセミナー室で行いました。Tri-U International Joint Symposium は、2008年より開催された佐賀大学—韓国・大邱大学の国際ジョイントシンポジウムに2017年度より中国・蘇州大学を交えての3ヶ国で行っているシンポジウムであり、第3回大会は本学で行いました。韓国・大邱大学の自然科学部から教授8名と学生1名、中国・蘇州大学の化学、化学工学、および材料科学大学から教授6名と学生6名の計21名を招聘し、また別プログラムで参加したインドネシア・ガジヤマダ大学数理および自然科学部から准教授1名と本学の教員と学生66名を交え、計88名の参加者となりました。招待講演は計16件行われ、各専門の研究内容について活発な議論がなされました。また、学生と2名の教員による41件のポスター発表がなされ、ポスター発表前には学生による口頭でのショートプレゼンテーションが各2分程度なされました。ポスター発表では教員による英語での質問が行われ、活発な質疑応答がなされました。41件の発表のうち、優秀な議論を行った、蘇州大学の学生2名と本学学生3名の計6名についてポスター賞が授与されました。2日目の午後には見学会が行われ、招聘者20名と本学から8名の計28名が参加し、窓乃梅酒造と古湯にある ONCRI を訪問し、窓乃梅酒造では社長自ら工場見学の案内をしていただき、また ONCRI では温泉でシンポジウムの疲れを取っていただきました。招聘者には日本の文化について触れていただくよい機会となりました。

台風19号のために開催も危ぶまれましたが、強風の中、シンポジウムは無事に終了いたしました。

なお、本事業は本学理工学部、化学工学会九州支部西九州化学工学懇話会、および佐賀市観光協会の支援により開催されました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

(報告者 坂口)



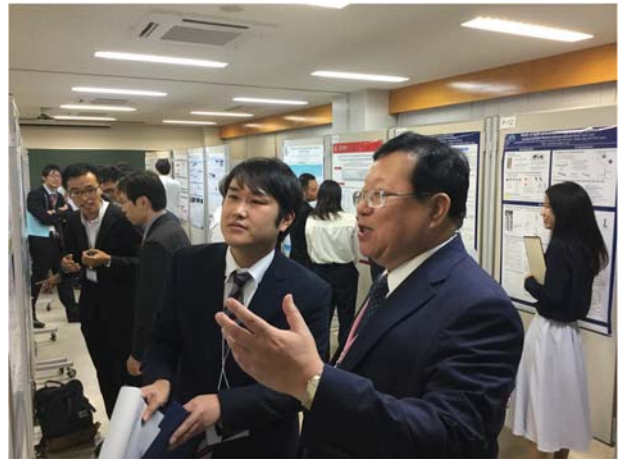
オープニングリマークで挨拶された渡理事  
(化学系ということで非公式での参加)



蘇州大学の学部長、Yao 教授による講演の様子



学生による口頭でのショート  
プレゼンテーションの様子



学生のポスター発表に質問する大邱大学の  
学部長、Cho 教授



集合写真



討論の様子



ポスター賞受賞者と授与した大石教授



窓乃梅酒造古賀社長の説明を受ける参加者



ONCRI での温泉入浴後の記念写真



韓国・大邱大学 Shim 教授による次回開催案内